

eco スクール in ASO 実施団体／阿蘇市地域婦人会

- 活動期間／7月26日（木）～8月24日（金） 日帰り5回
- 活動場所／小学校、公民館、老人施設
- 募集地域／阿蘇市
- 募集対象／小学生（1～6年生）
- 募集方法／・チラシ（配布先：阿蘇市内小学校） ・ポスター（掲示先：小学校、老人施設）
- 構成員数／11人
- 連絡先／熊本県阿蘇市一の宮町宮地4365-1



熱心に作品作り



eco スクール in ASO 全員集合



非常用ご飯作り



出来上がり作品 花盛り

●活動のねらいとポイント

子供たちに身近な環境活動を体験してもらうことにより、環境に対する規範意識を高めるとともに、子供の健全育成を図ります。作成した作品を老人ホーム等を持っていき、異世代間交流を行うことで、思いやりの心や豊かな人間性・社会性を育み、地域の人々とのつながりを深めることを目指します。

具体的なプログラム名	主なポイント
エコクラフト	身近にあるトイレットペーパーの芯で花を作る。芯を力を入れ押しつぶし1cm間隔にずれないように線を引いて切り、花びら20枚の材料を作りペイントして乾燥させる。その後組み合わせて一つの花に仕上げる。一つの花に1時間半から2時間を要する。最後まで作品を作ることで忍耐力を養い、環境に配慮する心を育む。
異世代間交流	老人ホームを訪問し、作品と一緒に見てもらったり、作ったりすることで、高齢者の方々と交流を図り、心豊かな人間性・社会性を育む。
非常用ご飯作り (ハイゼックス米)	電気を使用せず非常用米炊き出し体験を行うことによって、災害時の生き抜く力・他者と協力する力を育む。

●参加者の安全対策・健康管理

- 【安全対策】事前に見学を行い、危険箇所をチェックした上で安全対策を講ずる。クラフトでペイントを使用する際は目に入らないように注意し手袋を着用する。炊き出し体験では火傷に注意する。
- 【健康管理】活動前に健康チェック、緊急時に備え近隣の病院を把握、サポートカーを1台準備する。水分補給やアルコール消毒を実施する。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
7/26 7/27 8/6	13:00	はじまりの挨拶・自己紹介
	13:15	エコクラフト 家にあるトイレットペーパーの芯を持ってきてもらい、みんなでオブジェをつくる。
	15:00	炊き出し体験 非常用米（ハイゼックス米）炊き出し体験
	16:00	終わりの挨拶
8/22 8/24	14:00	各学校に集合 婦人会員引率の下歩いて老人ホームへ移動 はじまりの挨拶
	14:15	異世代間交流 ・高齢者の方々に自分の作った作品をプレゼントする。 ・高齢者と一緒にゲームを行う。 終わりの挨拶
	15:15	学校にて解散

●活動の成果と課題

水害・地震・火山爆発と災害の多い阿蘇では、地域住民との交流や防災意識を持つことが必要です。子供たちに泥水であってもご飯が炊ける「ハイゼックス米」作りを体験してもらい、今後この体験が何らかの災害時に活かされると確信しました。

エコクラフトでは完成させる忍耐力を養い、クラフト作品を老人施設に持参、作り方を説明しプレゼントしました。異世代間交流で思いやりの心や豊かな人間性、社会性を育み地域との繋がりを深めることが出来ました。

課題としては、多くの子供に体験活動の参加を促すには、夏休み期間で実施の場合、学校行事との調整が必要だと切に感じました。



老人ホームの皆さんと風船ゲーム



老人ホームで自己紹介



活動終わりみんなで



握手でお別れの挨拶

●団体概要

- 【設立年月】2005年（平成17年）
- 【設立の経緯】2005年（平成17年）町村合併（一の宮町・阿蘇町・波野）三町村合併と同時に設立
- 【目的】全国地域婦人会連合会・熊本県地域婦人会連絡協議会に属し、人づくり、地域づくり、自分づくりに励んでいます。会員は日赤奉仕団にも自動的に属し、災害時に炊き出し奉仕等を行っています。
- 【構成】一の宮町会員98名・阿蘇町会員55名・波野26名 計179名

ウィズ キッズ スマイル

- 活動期間／平成27年4月15日～11月19日 15回
- 活動場所／京都府立医科大学附属病院小児医療センター、京都大学医学部附属病院小児科
- 募集地域／上記各病院に入院している患児
- 募集対象／未就学児（1～6歳）、小学生（1～6年生）、中学生、高校生
- 募集方法／◆ポスター（掲示先：上記各病院の小児病棟内）◆医師の許可
- 実施団体名／公益財団法人 京都YMCA ■構成員数／10人
- 連絡先／京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 Tel: 075-231-4388 Fax: 075-251-0970



いつも登場するパペットでお話をしているところ



キャンプ体験

●活動のねらいとポイント

病棟から出られない入院中の子供たちに、季節や楽しみを届けます。制限のある入院生活を過ごしている彼らに、目標や希望を見出すきっかけになればと願って実施しています。活動には、子供たちにとって少し上の年代の大学生が関わっています。

具体的なプログラム名	主なポイント
レクリエーション、クラフト	毎回、季節を感じられるようなテーマを設定し、限られた時間の中で達成できる様、進め方を工夫して歌やゲームを行う。クラフトをすることによって、プログラムのひと時だけ楽しんでもらうのではなく、出来たものを病室へ持ち帰り、楽しかった時間を思い出せるようにする。
夏祭り	祇園祭の山鉾保存会の協力によるお囃子演奏や、ヨーヨーすくい、スマートボールなど、夏祭りの屋台を再現し、病院にいながら夏祭りの雰囲気味わってもらう。子供たちだけでなく、ご家族にも喜んでもらえる活動とする。
春と秋のコンサート	プロのエレクトーン奏者を迎え、夏と秋にコンサートを行う。事前に子供たちからアンケートをとり、弾いてもらいたい歌のリクエストに応える。子供たちが一緒に歌い、手遊びができるような参加型コンサートとする。（京都府立医科大学附属病院のみ）

●参加者の安全対策・健康管理

- 【安全対策】病院側との打ち合わせを定期的に実施し、活動の評価を行う。その際、病院側の要望も取り入れるようにする。清潔に保たれた環境での活動であるため、衛生面には細心の注意を払い、子供たちが直接手にする楽器や道具などは活動前にアルコールで消毒をしてから使用する。乳幼児も多く参加する活動であるため、細かな材質のものも使用を避ける。
- 【健康管理】入院中の子供たちを守ることに、関わるスタッフ自身の健康を守る二つの観点から、4種の抗体検査をクリアしたスタッフのみが関わるようにする。特に冬期には流行性ウィルスを持ち込むことのない様、スタッフ全員が予防接種を受ける。

●活動の日程・内容

月/日	時間帯	プログラム内容
4月15日	13:30-15:50 (3プレイールームで40分ずつ行う。)	テーマ「ハロー？ ボンジュール？世界のみなさんこんにちは！」 場所:京都府立医科大学附属病院
4月17日	15:30-16:10	同上 場所:京都大学医学部附属病院
5月21日	15:15-16:00	テーマ「春の子供コンサート」(特別プログラム) 内容:エレクトーン奏者を迎えて、子供たちからのリクエスト曲や劇を届ける。 場所:京都府立医科大学附属病院
5月22日	15:30-16:10	テーマ「ほかほか陽気♪みんなでお花をさかせよう！」 場所:京都大学医学部附属病院
6月17日	13:30-15:50 (3プレイールームで40分ずつ行う。)	テーマ「Let's go エジプト！はじめ日本を出発だ！」 場所:京都府立医科大学附属病院
6月18日	15:30-16:10	同上 場所:京都大学医学部附属病院
7月15日	14:00-15:30	テーマ「夏祭り」(特別プログラム) 内容:祇園祭南無山保存会のお囃子方を迎え、屋台も設置し、お祭りを楽しむ。 場所:京都府立医科大学附属病院
8月16日	18:30-20:00	テーマ「大文字送り火鑑賞会」(特別プログラム) 内容:五山の送り火に合わせて、お祭りを楽しみ、病院から見える大文字送り火を楽しむ。 場所:京都府立医科大学附属病院
8月31日	15:30-16:10	テーマ「ゆーらゆら、カヌーの上は気持ちいい！」 場所:京都大学医学部附属病院
9月16日	13:30-15:50 (3プレイールームで40分ずつ行う。)	同上 場所:京都府立医科大学附属病院
9月18日	15:30-16:10	テーマ「レッツゴー！アメリカ。大きな野球場で運動会♪」 場所:京都大学医学部附属病院
10月20日	15:30-16:10	テーマ「みんなで演奏ドレミファソ♪」 場所:京都大学医学部附属病院
10月29日	13:30-15:50	テーマ「秋の子供コンサート」(特別プログラム) 内容:エレクトーン奏者を迎えて、子供たちからのリクエスト曲や劇を届ける。 場所:京都府立医科大学附属病院
11月17日	15:30-16:10	テーマ「もみじ祭り」(特別プログラム) 内容:ヨーヨー釣りや輪投げ、スマートボールなどの屋台が登場する秋のお祭りを楽しむ。 場所:京都大学医学部附属病院
11月19日	13:30-15:50 (3プレイールームで40分ずつ行う。)	テーマ「レッツゴー！アメリカ。大きな野球場で運動会♪」 場所:京都府立医科大学附属病院



秋の子供コンサート

●活動の成果と課題

入院中の子供たちが活動に楽しんで参加してくださったことはもちろん、付き添っている保護者にも憩いの場となり、保護者にも和んでもらえる時間を提供することができました。また、季節の話やそれにつながるクイズなどを通して、子供たちが楽しみながら外の世界の様子を感じられました。その伝え方についてもクラフトや道具を用いて、子供の興味関心を引き出しながら進めることができました。中でも今年度は、登場キャラクターに外国人を取り入れ、アメリカやエジプト、フランスへの旅をテーマとしたプログラムにも取り組み、季節とはまた違った、院内での生活では感じられないプログラム作りを行うことができました。看護師や病棟保育士からも「病室では見られない子供たちの表情を見る事が出来て、私たちも元気をもらえます」と評価していただけた。

課題としては、病棟や訪問する時期によって参加する子供たちの年齢が様々（乳幼児から高校生）であるが故に、活動内容や進め方を参加年齢に合わせて柔軟に対応していくことです。



カヌープログラム

●団体概要

- 【目的】YMCAは、1844年イギリスのロンドンで誕生しました。以来、世界119の国と地域に広がる国際的非営利団体（NGO/NPO）です。YMCAの活動は、生涯にわたる学習、語学教育、幼児教育、野外活動、健康教育、国際理解教育、ボランティア活動等を通じて人々の精神・知性・身体の調和と発達を願い、キリストに示された愛と奉仕の生き方を分かち合うことを目的としています。京都YMCAでは、水泳、バスケットボール、サッカー、体操、英会話の各教室、キャンプやスキープログラム等の野外活動、アフタースクール、発達に障がいのある子供たちのサポートプログラム等を展開しています。
- 【構成】参加会員数：1,647名、ボランティア会員数：567名、その他会員数249名、賛助会員数：45団体・16名 常勤スタッフ22名、非常勤スタッフ110名